

令和6年度 第1回まちづくりふれあい懇談会記録書

1 日 時 令和6年7月22日（月）午後6時30分～7時33分（1時間3分）

2 場 所 農村環境改善センター（北浜） 多目的ホール

3 出席者 一般出席者 8人

網走市出席者 11人（市長、学校教育部長、企画総務部長、
市民環境部長、建設港湾部長、
廃棄物処理広域化推進室参事、都市管理課長、
都市整備課長、企画調整課長、広報広聴係長）

町連等出席者 4人（会長、副会長、理事、社会福祉協議会職員）

報道 1人

計 24人

4 議事進行 理事

5 進行記録

18:30 開会

18:31 市長あいさつ

18:33 町連副会長あいさつ

18:37 テーマ(1)ごみの広域処理について

18:49 テーマ(2)公園敷地等を活用した雪置き場について

18:57 テーマ(3)北海道横断自動車道網走線（女満別空港～網走間）の状況について

19:18 その他

19:32 市長あいさつ

19:33 閉会

6 質疑など

【テーマ（１）ごみの広域処理について】

参加者	今の説明を聞くと、分別の方法が楽になると思うが、現行の赤と黄色の袋の分け方はなくなるとの理解で良いのか。そうすると今の袋は使えなくなるのでしょうか。若い人でも分別は大変で、高齢者はもっと大変なので、そのあたりはどのように考えているのか聞かせてください。
市民環境部長	袋はこれからの検討になります。区分は先ほど説明したとおりですが、今後、料金設定はどうするのか、袋の変更は過去にもありましたが、交換や一定期間の余裕を持つなど、色々やり方はありますので、検討の上、なるべく早く皆さんにお知らせし、混乱の起きないようにしていきたいと考えています。今はまだ検討段階ということでご理解いただきたいと思います。

【テーマ（２）公園敷地等を活用した雪置き場について】

質疑なし

【テーマ（３）北海道横断自動車道網走線（女満別空港～網走間）の状況について】

参加者	端野高野道路はいつできるのか。呼人までは、ざっくりで良いので、どのくらい時間がかかるのでしょうか。その後はまだまだかかることはわかりました。
建設港湾部長	端野高野道路は、平成31年に新規事業化され、その後、測量や用地買収を順次進めており、2年前から工事着手しています。今年から本格的に、事業費もたしか25億円くらいかけていると思います。具体的にいつ頃かは開発局から示されていません。できる限り早く完成するよう地域一体となって要望してまいりたいと考えています。 女満別空港呼人間については、今回、新規事業化されました。呼人地区へは、これから測量に入らせていただきたいという説明会を開催しました。説明会で特に反対されるということとはなかったのですが、いつ完成するのだろうという点に一番興味をお持ちになっているのかなという感触でした。まずは、測量、設計の上、どれだけの土地が必要か整理し、その後、用地交渉、補償となりますので、できる限りスムーズにできるよう、開発局と連携し、網走市も一緒に交渉していくことになります。 事業化された後、工事着手までは概ね3年を目指すということになっていますので、早ければ令和9年に工事に着手される可能性があります。そこから10kmの工事となり、建設工事費の高騰もありますので、どのくらい工事期間がかかるかはわかりませんが、できる限り早期に完成するよう併せて要望してまいりたいと思います。

【その他】

参加者

網走の人口は2050年には33,000人から21,000人になり、つい先日は消滅自治体が発表され、この辺で残るのは北見くらいで、網走はなくなるよという表現で報道されていたかと思います。市長の思いはどのあたりにあるのかお伺いしたいと思います。

もう一つ、先日、町内会連合会からアンケートが届きました。先ほど久守副会長もおっしゃっていましたが、自治会の活動について非常に危惧しているということだと思いますが、呼人の高齢化率が4割とのことですが、北浜も同じで、独居の方が非常に多い。コロナで自治会の活動も鈍ってしまい、これから新たな活動を模索するのも非常に厳しい。アンケートは回収するまでもなく、正副会長は、結論は理解されているのかなと思います。

北浜は今、64戸ありますが、おそらく30数戸になるだろうと思います。2050年に私はいませんし、若い方しか残らないので検証のしようがないと思いますが、市長、町連の役員はどのような感想をお持ちでしょうか。

市長

消滅自治体に私たちのまちが入ってしまい、そうじゃない自治体は、確か斜里と北見だったと思います。

あれは女性の数を割り返して、50%以上減っていると消滅自治体というランクになってしまいますが、うちは0.4ポイント不足していました。あと4、5人女性がいてくれたら実は消滅自治体のランクに入らなかったという状況です。

ですから、何をもって線引きしてセンセーショナルに消滅自治体として発表するのかは、数字のあやみたいなところがあります。

しかし、人口が減っているのは事実です。昨年、我が国で産まれた赤ちゃんは73万人で、団塊の世代の頃は200万人くらいでした。160万、170万人くらいが73万人になり、その影響は20年後に出てきます。15～65歳の働ける年齢の、生産年齢人口が1,300万人減ってしまいます。働く方たちが減っていき、高齢者が増えていく。どうやって社会を回そうかということが、私たち自治体の大きな仕事と思っています。

生産年齢人口が2割減っても、社会が回れば課題が少ないが、増える業種には手立てが必要で、医療、介護、2次交通といったようなサービスを、どう確保し、整えられるか、予算を配分し、外国人人材も入れて、看護、介護をどう維持していくかという政策を取っています。

今後、色々な手立てを講じて、社会を回していきたいと考えております。今、農村地域においては、デマンドバスの交通の仕組みを取り入れて、地域社会を回す仕組みを考えております。

まだまだ現場に課題があると思っていますので、こうした意見を伺いながら、政策を検討していきたいと思っています。

今後ともご協力、ご指導いただけますようお願いいたします。

町連会長

皆さんご存知のように、町連としても、少子高齢化が進み、町内会会長や事務局を引き受けてくれないとか、町内会が解散しているのも事実です。

そんな中、市と町連でタイアップし、アンケートをお願いしています。今月末で締め切らせていただいて集計します。これは10年前とほとんど変わらない設問としていますので、比較してどんな数字が出てくるのか、7月末に結果が出ますので、皆さんに1日も早くお知らせしたいと思います。

参加者

以前市長に伺ったときは、高齢者は減るので、介護施設は増やす予定はありませんというような回答だったかと思います。介護施設は十分足りているのでしょうか。私もそういう年頃になってきましたので、非常に心配しております。

行政の介護施設は10年待ちだという話も聞きますし、一般の介護施設はそれなりの蓄えがないと簡単には入れてくださいとは言えません。私は子どもも地元にはいないので、福祉の交通も期待はしているところですが、最後はどこにお願いしようかと考える年頃になりました。

以前はそういう回答だったかと思いますが、考えに変わりはないのか、伺いたいと思います。

市長

本日は健康福祉部長が来ておりませんので、詳しいことはお話できないのですが、今、第9期の計画、次の3年間の介護計画を策定しているところです。

今の現況を踏まえて、3年間どのように取り組むかを、今、精査していますので、今日は答えられなくて申し訳ありません。

不安だということは受け止めなくてはならないと思っています。

今は要介護3以上の方が入れる施設になっています、それ以外の方はデイサービスなどで介護や援助を受けながら、普通の自立した生活を送るというのが今の流れだと思います。

日々元気で過ごしていただけるような施策をしっかりと地域で講じていくことで、不安を少しでも解消できればと考えております。

不安がなくなるように介護施設を充実してはということには、今日は答えを持ち合わせていませんので、申し訳ありません。

参加者

自治体として、市民サービスを一生懸命考えてくれているんだとありがたいと思っているところですが、今後、人口減少していく中で、行政サービスをどこまであてにして良いのか、限界があると思いますし、だからと言ってどれを切りますかということには中々ならないと思います。そのあたりどうなのでしょう。

市長

今、市の職員は360人いますが、人口が減少したから、行政サービスが減ったかということ、実はニーズは増えていて、これで人を減らすと手をつけられないので、私たちは人事採用に真剣に取り組んでいます。それでも足りない、応募してくれない、辞めていく人が増えていくという実態があります。行政はしっかり人材確保をして、

市民のニーズに応えていきたいと考えています。

市民サービスのニーズは増えていっているので、今後増えていくニーズに応えられるかはわかりませんが、市民サービスを引き下げない、維持する、少しでも向上できるように努力をしていきたいと思っています。

またIT、AIなどの技術革新で1人ができる仕事量を改善し、市民サービスが低下しないように取り組んでまいります。